

調査解析 1

琵琶湖沿岸の自然再生と生態系の現状評価

【研究概要】

琵琶湖沿岸では、様々な自然再生・保全活動が実施されてきたが、長期化により、人材・費用・モニタリング体制の継続的な確保が課題となっています。そこで、生態系管理を効果的・効率的に実施するための技術と仕組みを、水草の大量繁茂対策、侵略的外来植物の管理、二枚貝等の生息環境改善に適用し、実質的な生物多様性の再生に向けた課題整理と現状評価を行います。

【サブテーマ】

- ①水草除去と生態系モニタリング
- ②オオバナミズキンバイが生育しにくい照度条件の把握
- ③二枚貝の保全再生に向けた住民活動支援のあり方検討
- ④滋賀県生きものデータバンクを活用した生きものの生息状況長期変遷の把握



【現状・課題】



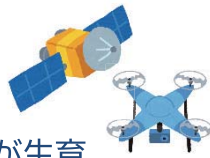
- ・水草、侵略的外来水生植物の除去と対策
- ・湖辺環境の改善
- ・生態系の順応的管理
- ・生物多様性の主流化



【課題解決に向けて】

1 水草や生態系のモニタリング技術開発

- ・水草や南湖の生態系モニタリングに衛星画像解析や環境 DNA を適用し、水草およびその他生物等の変遷を把握
- ・水草問題の現状を評価



2 オオバナミズキンバイが生育しにくい照度条件の把握

- ・刈り取りができない石組み護岸等の群落を制御するための照度条件の把握



3 二枚貝の保全再生に向けた住民活動支援のあり方検討

- ・住民が主体となって湖辺の環境改善活動を進めるための支援・促進手法を検討し、その実践事例を提示



4 滋賀県生きものデータバンクを活用した生きものの生息状況長期変遷の把握

- ・生きものの生息情報の集積、GIS による沿岸の植生・底生動物の長期変遷の解析



- ・生態系管理を効果的・効率的に実施するための技術と仕組みを、水草の大量繁茂対策、侵略的外来水生植物の管理、二枚貝等の生息環境改善に適用する。
- ・実質的な生物多様性の再生に向けた課題整理と現状評価を行う。